

1918（大正7）年、京都の新進気鋭の日本画家たちにより創設された国画創作協会に、1925（大正14）年、

90回記念国展『90vs90+展』90人のアーティストによる

梅原龍三郎、川島理一郎らが参加して洋画部（現絵画部）を設置し、翌年には彫刻部と工芸部を設置しま

した。1928（昭和3）年、国画創作協会の第1部解散に伴い、名称を「国画会」と改め、展覧会名も通称

としての「国展」を継承しました。1926（昭和元）年、初公募の第1回展として出発した洋画部に触発さ

れるように1928年に版画部を、1929年写真部を設立し五部門を擁した総合美術団体として梅原の牽引の

下に成長を続けることとなります。

その草創期においては、1938年まで9回にわたり、先進欧州の印象派を中心にした作家と作品を紹介

したことは特筆に値します。また、柳宗悦が唱えた「用の美」を掲げた「民芸運動」が隆盛になるなど、

世の中に与えた影響は大きく、国画会は日本美術史上に輝かしい足跡を残しています。その後も、絵画、

版画、彫刻、工芸、写真の各部門において、「創作の自由を尊重する」を第一義とした創立精神と多様な

表現様式を受け継ぎ、作家として独立自尊を目指した活動に活発に続き、日本美術界を牽引し代表する多

くの作家を輩出し続け、現在、国立新美術館全館を発表の場とし、毎年5月初めの2週間に8万人を越す

入場者を迎えて突出した存在感を示し多くの支持を得る大公募団体へと成長しています。

KOKUTEN 90th Anniversary

このたび90回記念国展を迎えるにあたり、国画会の企画として「90VS90+展」を開催することとなりました。

この展覧会は、90年を支えてきた90名の国画会五部門の現役会員による展覧会です。これまでの栄えあ

る国画会の先達を目標に現在まで制作してきた作家たちが、今、世に掲げたいのは今後の日本の美術の指針

となることでしょう。「90VS90+展」を開催する機会を得られたことで、次の世代への架け橋となること

を希望してやみません。

見よ国展の底力

- 絵画
- 版画
- 彫刻
- 工芸
- 写真

2016.4/29 金 5/4 水

第一会場 O 美術館

第二会場 光村グラフィック・ギャラリー (MGG)

休館日無し / 開館時間：午前10時より午後6時（最終日は午後4時まで） / 観覧料：無料

主催 国画会 後援 NHK厚生文化事業団 協力 公益財団法人品川文化振興事業団 O 美術館、光村印刷株式会社

『90vs90+展』 見よ国展の底力

1918(大正7)年、京都の新進気鋭の日本画家たちにより創設された国画創作協会に、1925(大正14)年、梅原龍三郎、川島理一郎らが参加して洋画部(現絵画部)を設置し、翌年には彫刻部と工芸部を設置しました。1928(昭和3)年、国画創作協会の第1部解散に伴い、名称を「国画会」と改め、展覧会名も通称としての「国展」を継承しました。1926(昭和元年)、初公募の第1回展として出発した洋画部に触発されるように1928年に版画部を、1939年写真部を設立し五部門を擁した総合美術団体として梅原の牽引の下に成長を続けることとなります。

その草創期においては、1938年まで9回にわたり、先進欧州の印象派を中心にした作家と作品を紹介したことは特筆に値します。また、柳宗悦が唱えた「用の美」を掲げた「民芸運動」が隆盛になるなど、世の中に与えた影響は大きく、国画会は日本美術史上に輝かしい足跡を残しています。その後も、絵画、版画、彫刻、工芸、写真の各部門において、「創作の自由を尊重する」を第一義とした創立精神と多様な表現様式を受け継ぎ、作家として独立自尊を目指した活動は活発に続き、日本美術界を牽引し代表する多くの作家を輩出し続け、現在、国立新美術館全館を発表の場とし、毎年5月初めの2週間に8万人を超す入場者を迎えて突出した存在感を示し多くの支持を得る大公募団体に成長しています。

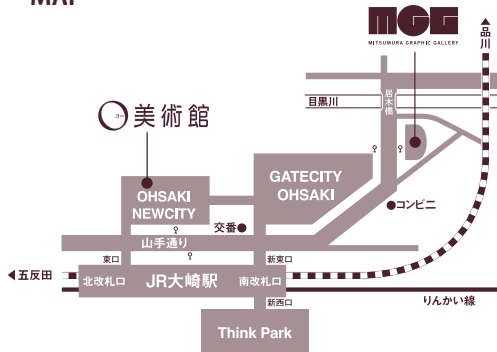
このたび90回記念国展を迎えるにあたり、国画会の企画として「90vs90+展」を開催することとなりました。この展覧会は、90年を支えてきた90名の国画会五部門の現役会員による展覧会です。これまでの栄えある国画会の先達を目標に現在まで制作してきた作家たちが、今、世に問うことは今後の日本の美術の指針となることでしょう。「90vs90+展」を開催する機会を得られたことで、次の世代への架け橋となることを希望してやみません。

参加作家

展示会場(予定) … O: O美術館 M: MGG

◆ 絵画部		O		M		◆ 写真部							
安達 博文	O	柏 健	O	瀨川 明甫	O	松野 良治	O	平野 正房	O	本郷 寛	M	◆ 写真部	
石井 豊太	O	金谷 雄一	O	祖父江弘幸	O	森田 孝夫	O	星野美智子	O	吉村 壽夫	M	新栄 宏和	M
石原 章吾	O	川井 一義	O	高橋 靖夫	O	安富 信也	O	前田 政晴	O	◆ 工芸部		伊藤 正昭	M
稲垣 考二	O	北野 隆祥	O	田代甚一郎	O	山口 静治	O	増田 昌己	M	池田 リサ	M	笠原 将	M
井上 悟	O	金城 規克	O	田中いっこう	O	山寺 重子	O	増田 陽一	O	大槻 圭子	M	橘田 功	M
井上八重子	O	久保田 裕	O	多納 三勢	O	大和 昭治	O	米倉 泰民	O	岡本 隆志	M	齋藤 正	M
植月 正紀	O	齋藤 静輝	O	津地 威汎	O	山本 勇一	O	◆ 彫刻部		小島 貞二	M	鈴木 孝史	M
蝦名 協子	O	齋藤 望	O	東方 達志	O	◆ 版画部		池田 秀俊	O	清水 昌子	M	多田 茂徳	M
江村 正光	O	榊 美代子	O	徳弘 亜男	O	青木 鐵夫	O	石谷 孝二	O	土屋 直人	M	千野 素行	M
遠藤賢太郎	O	坂谷 和夫	O	西川ひろみ	O	太田 策司	M	猪瀬清四朗	O	出口 普子	M	藤井 満生	M
遠藤 正俊	O	佐々木 豊	O	花田勝太郎	O	小原 喜夫	M	大成 浩	O	寺村 祐子	M	古井 圭介	M
大内田 敬	O	佐々木良三	O	半田 強	O	園城寺建治	O	岡野 裕	M	中村 裕子	M	古井 敏行	M
大島 幸夫	O	佐野 晃子	O	福井 路可	O	金守世士夫	O	粕谷 圭司	M	古澤万千子	M	松野 崇	M
大田 洋	O	塩川 高敏	O	藤本 洋文	O	熊谷 吾良	O	菊地 伸治	M	松崎 健	M	丸山派留雄	M
大沼 映夫	O	島田 鮎子	O	星 守雄	O	白鳥 勲	M	古島 実	M	松崎 融	M	吉田 精一	M
小川 浩司	O	島田 章三	O	増地 保男	O	世古 剛	M	柴田 善二	M	柚木沙弥郎	M		
小原 キク	O	城 康夫	O	松岡 滋	O	長谷川安信	O	関谷 光生	M	綿貫 倫子	M		
		菅野 充造	O	松永 健吾	O								

MAP



会場案内

第一会場 **O 美術館**

O(オー)美術館

東京都品川区大崎 1-6-2 大崎ニューシティ2号館2F
tel.03-3495-4040
JR/りんかい線【大崎駅】北改札東口より徒歩2分
東急バス(渋谷駅⇔大井町駅)【大崎駅】徒歩2分

第二会場



光村グラフィック・ギャラリー

東京都品川区大崎 1-15-9 tel.03-3492-1181 (光村印刷代表)
JR/りんかい線【大崎駅】南改札新東口より徒歩6分
東急バス(渋谷駅⇔大井町駅)【居木橋】前